

中小企業 とっとり

No.800

2024

9

令和6年9月1日発行

調査

物流2024年問題緊急影響調査結果

特別寄稿

「中小企業が取り組む脱炭素経営について」

一般社団法人エネルギーマネジメント協会

代表理事 高田 敏春 氏

Contents

調査	2
中央会	4
特別寄稿	5
ちいき組合情報	6
鳥取県の中小企業景況	8
全国先進組合事例	10
中央会の動き	11



©鳥取県「砂丘に咲いた花（平成20年度鳥取県写真コンクール入賞作品）」



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>

令和6年度「物流2024年問題緊急影響調査」結果概要

影響が出ている事業所は4割強、物流業者への影響は多岐にわたる

本会では、県内の中小企業における物流2024年問題に関する影響及び対応状況等を把握するため、6月1日を調査時点として、県下400事業所を対象に調査を実施した。回答数は235事業所、回答率は58.7%であった。調査結果の概要は次のとおり。

回答事業所の属性

回答事業所の業種は、「建設業」が9.4%、「製造業（食品関連）」4.3%、「製造業（印刷関連）」0.4%、「製造業（金属関連）」8.5%、「製造業（鉄工関連）」2.1%、「製造業（その他）」16.2%、「卸売業」10.6%、「小売業」8.9%、「サービス業」6.4%、「運送業」28.9%、「その他」4.3%となった。（図1）

回答事業所のカテゴリ

回答事業所を荷主・物流業者・荷受のカテゴリ別にみると、「荷主」が32.8%、「物流業者」31.5%、「荷受」35.7%となった。（図2）

物流2024年問題による経営面等への影響（6月1日現在）

「大きく影響が出ている」と回答した事業所が5.5%、「影響が出ている」と回答した事業所は36.2%となり、4割以上が影響あると回答した。「今後影響が出ることが予想される」と回答した事業所は31.9%、「影響は出していない」の回答は19.1%となり、約半数は調査時点で影響が出ていないと回答。（図3）

カテゴリ別に見ると、荷主においては「影響が出ている」と回答した事業所が41.6%と最も多く、次いで「今後影響が予想される」32.5%、「影響は出していない」19.5%となった。物流業者においては「影響が出てい

る」と回答した事業所が41.9%と最も多く、次いで、「今後影響が予想される」24.3%、「影響は出していない」17.6%となった。荷受においては「今後影響が予想される」と回答した事業所が38.1%と最も多く、次いで、「影響が出ている」26.2%、「影響は出していない」20.2%となった。（図4）

物流2024年問題の具体的な影響

「物流コストの上昇」と回答した事業所が75.0%と最も多く、次いで、「売上（利益）の減少」33.7%、「人件費の増加」31.4%、「納品リードタイムの延伸」が28.5%となった。（図5）

カテゴリ別に見ると、荷主においては「物流コストの上昇」と回答した事業所が91.8%と最も多く、次いで、「納品リードタイムの延伸」34.4%、「売上（利益）の減少」が21.3%となった。物流業者においては「人件

図1 回答事業所の属性

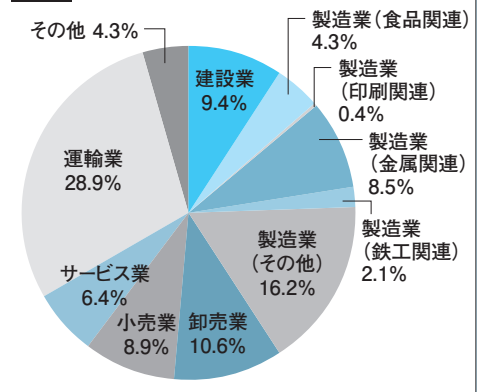


図2 回答事業所のカテゴリ

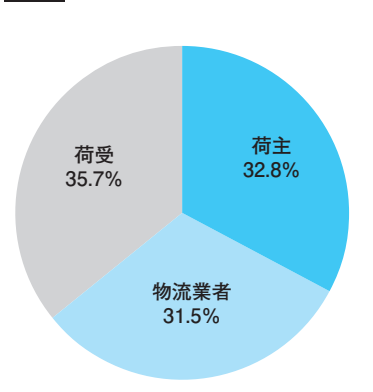


図3 経営面等への影響（全業種）

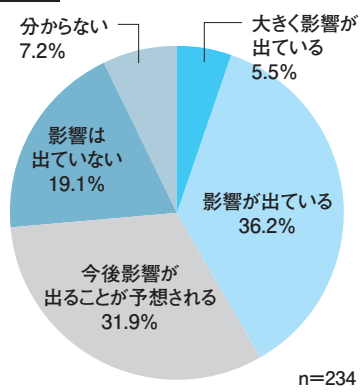


図4 経営名等への影響(カテゴリー別)

カテゴリー／影響	大きく影響が出ている	影響が出ている	今後影響が予想される	影響は出ていない	わからない
荷主	5.2%	41.6%	32.5%	19.5%	1.3%
物流業者	6.8%	41.9%	24.3%	17.6%	9.5%
荷受	4.8%	26.2%	38.1%	20.2%	10.7%

図5 物流2024年問題の具体的な影響(6/1時点)

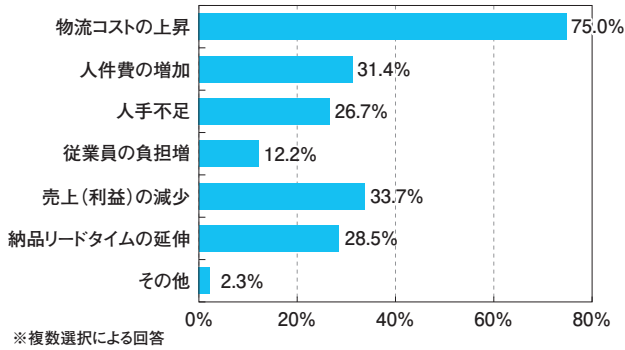


図6 カテゴリー別に見た具体的な影響

カテゴリー別／具体的影響	物流コストの上昇	人件費の増加	人手不足	従業員の負担増	売上(利益)の減少	納品リードタイムの延伸	その他
荷主	91.8%	16.4%	16.4%	6.6%	21.3%	34.4%	0.0%
物流業者	46.3%	61.1%	46.3%	22.2%	53.7%	13.0%	3.7%
荷受	82.8%	19.0%	19.0%	8.6%	27.6%	36.2%	3.4%

図7 対策(全業種) n=235

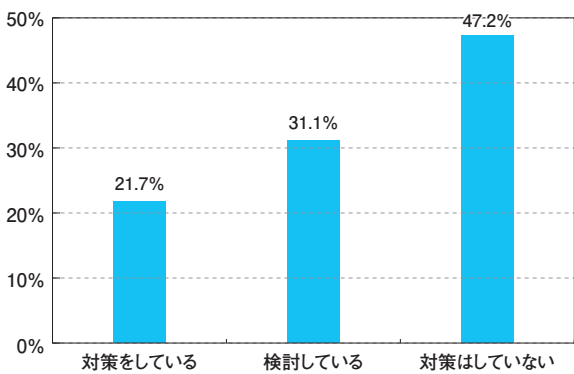
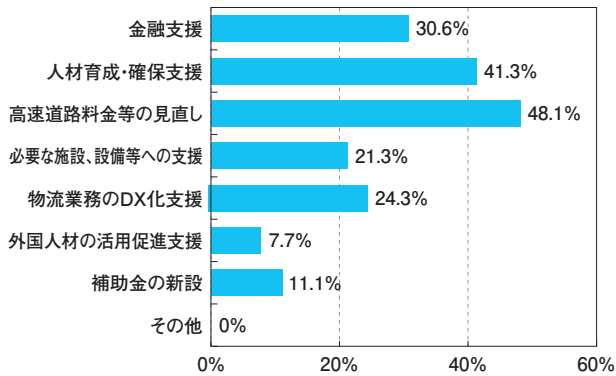


図9 求める支援策 n=235



「対策はしていない」と回答した事業所が47.2%と最も多く、次いで、

物流2024年問題に対しての対策について

「金融支援」と回答した事業所が61.1%と最も多く、次いで、「売上(利益)の減少」53.7%、「物流コストの上昇」「人手不足」が46.3%となった。荷受においては「物流コストの上昇」と回答した事業所が82.8%と最も多く、次いで、「納品リードタイムの延伸」が36.2%、「売上(利益)の減少」が27.6%となった。(図6)

「高速道路料金等の見直し」と回答した事業所が48.1%と最も多く、次いで、「人材育成・確保支援」41.3%、

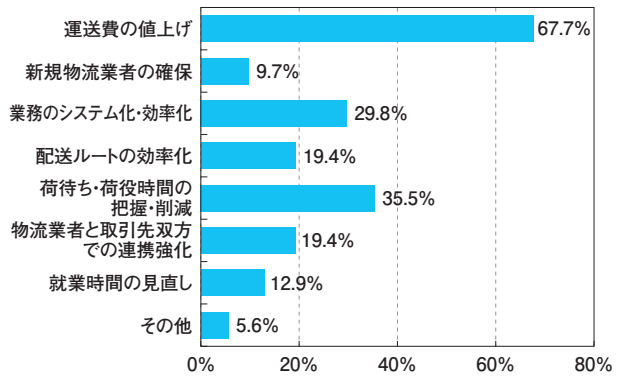
物流2024年問題に関して求める支援策について

「検討している」31.1%、「対策をしている」が21.7%となった。(図7) 具体的な対策・検討内容については、「運送費の値上げ」と回答した事業所が67.7%と最も多く、次いで、「荷待ち・荷役時間の把握・削減」35.5%、「業務のシステム化・効率化」が29.8%となった。(図8)

要望、意見

「金融支援」30.6%、「物流業務のDX化支援」24.3%となった。(図9) 「物流の維持継続の為に顧客側の協力が必要」、「人手がいない中、対応がむずかしい。対応するにあたり、手間がかかり煩雑になる」、「小売・問屋を含めサプライチェーン全体でゆとりのある発注が必要」、「高速道路無料化による長距離輸送の負担軽減と運送費の値下げ又は値上げ抑制」などの意見・要望があった。

図8 具体的な対策等 n=124



すえひろクーポン発行

〜ねんりんピックに合わせ来街促進〜

末広温泉町商店街振興組合（理事長・太田宏司氏）は、本会販路開拓支援事業・国内取引拡大支援事業補助金を活用して、「すえひろクーポン」を発行する。

本取組では、10月19日〜22日にかけて開催される「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」に合わせて、当商店街で使用可能な「すえひろクーポン」を発行する。ねんりんピック開催期間中は、出場者・関係者等含め人流の活発化が見込まれるため、鳥取市内のホテル・旅館と協力して来県者に配布し、当商店街へ呼び込む。また、当クーポンは地元の方も利用可能で、10月6日に開催する「末広まつり」の来場者に、イベントだけでなく当商店街への再来街へと繋げるべく配布する。

太田理事長は「商店街を挙げてねんりんピックを応援し、これを機会に末広温泉町をより知ってもらいたい。SNSなども活用して県内外に情報発信し、来街促進に取り組みたい」と想いを語った。



（企画振興部 山崎）

新制度「育成就労法」の分析

〜外国人技能実習制度適正化講習会実施〜

本会は、7月25日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において、弁護士法人Global HR Strategy代表社員・弁護士・杉田昌平氏を講師に迎え「育成就労法の分析」をテーマとした外国人技能実習制度適正化講習会を実施し、外国人技能実習生受入事業を実施している事業協同組合代表者、責任者等が参加した。

外国人技能実習制度と特定技能制度は、2022年から有識者会議で見直しによる議論が進められ、2023年3月に技能実習に代わる新制度「育成就労」を新設する出入国管理法など改正案が閣議決定し、6月の参議院本会議で賛成多数で可決成立した。

今回、杉田弁護士より、新制度「育成就労法」の分析として、制度概要、目的、監理支援機関の許可基準、転籍、産業界の考え方など説明を受けるとともに、技能実習制度と共通している枠組み、変更されている内容等示唆を受けた。育成就労法は概ね3年以内に施行

される予定。講習会の前段には、外国人技能実習生受入事業を実施している組合組織である「鳥取県外国人技能実習生受入組合連絡協議会」の定期総会が行われ、令和5年度事業報告並びに収支決算、令和6年度事業計画並びに収支予算案等全3議案が可決した。

（組織支援部 上根）



講習会の様子

新理事長紹介

令和6年度通常総会で選任された新理事長を紹介致します。



鳥取県東部建具協同組合

理事長 石黒 裕章 氏

住所：鳥取市
設立：昭和37年7月
組合員：5人
主な事業：共同購買事業、共同受注事業、教育情報提供事業ほか

「中小企業が取り組む脱炭素経営について」 第2回「自社の現状把握の方法」



一般社団法人エネルギーマネジメント協会
代表理事 高田 敏春 氏

2024年8月号で脱炭素経営の最新動向について触れました。今月号では自社の現状把握の方法についてお伝えしたいと思います。

多くの経営者は決算書で光熱費を把握されていると思います。特に近年は、燃料価格が高騰しており毎月の光熱費を気にされている経営者の方も多くいると思われます。また、その際は料金の把握で済まされている方もいますが、大切なのは使用量です。

毎月の使用量を把握することで月々の変動を把握し、その変動要因を分析し、問題点があればその対策をすることで使用量の削減につながる場合があります。

各自でできる現状把握の方法は、月々の使用量を把握することから始めることです。また、今回のテーマが脱炭素経営なので、使用量を把握したらCO₂に換算して各自のCO₂の把握にも努めて下さい。

電力の場合の計算式は、年間電力使用量×電力会社の排出係数で算出

できますが、注意点としては電力会社ごとに排出係数が異なる点と毎年排出係数（実排出係数）が異なる点です。排出係数は環境省の「<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/>」で公開されていますので、参照ください。

次にできることは外部専門家の意見を聞いてみることです。経済産業省では企業に応じて3種類の現状把握（省エネ診断）ができる施策があります。また、省エネ診断費用は9割国の補助があるので、企業の負担は1割となります。

① 省エネチェック診断

登録診断機関が診断する省エネチェック診断で、特徴は設備単位で診断が行えるところです。各自の課題が明確であればその設備のみ診断することが可能となります。2設備までは「設備単位プラン」、3設備以上であれば「まるっとプラン」となります。また、過去に省エネ診断を受診した事業者向けに「効果測定コース」もスタートしました。

申込／問い合わせ先

「<https://shoenshindan.jp/guide/search/>」

② 省エネ最適化診断

一般財団法人省エネルギーセンターに登録されている専門家による省エネ診断で専門家の視点で必要な「運用改善」・「設備導入改善」の提案を行う省エネ診断です。また、さらに希望があれば「IoT診断」でデータに基づく詳細な診断も可能です。

申込／問い合わせ先

「<https://www.shindan-net.jp/service/shindan/entry.html?m=apply>」

③ 省エネお助け隊

省エネお助け隊に登録されている専門家による省エネ診断で専門家の視点で必要な「運用改善」・「設備導入改善」の提案を行う省エネ診断です。加えて、希望があれば「省エネ伴走支援」による支援メニューにより、省エネ診断で提案された改善について支援も行えます。

申込／問い合わせ先

「<https://www.shoene-portal.jp/consultation/>」

まずは、各社で行える現状把握に努め、更なる取組をされたい時に外部専門家を活用した現状把握や改善提案の確認をされては如何でしょうか。

次月号では、省エネ取組について触れていきます。

オール・イー・アクション

再エネ100宣言REAction 参加メンバー募集中！ 鳥取県もアンバサダーとして応援します！

再エネ100宣言
RE Action

「再エネ100宣言REAction（オール・イー・アクション）」は、中小企業や行政、団体などが、2050年までに使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思を表明し、行動していくことを目標に令和元年10月に発足した全国的な枠組みです！

鳥取県は、令和元年12月に都道府県として初めてアンバサダーに就任し、率先して脱炭素経営に取り組む県内企業・団体を応援しています。これまでに、鳥取県内の42団体（全国385団体）が加入し、うち2団体では既に「再エネ100」を達成しています。参加団体は随時募集中！お気軽に御相談ください！

【加入メリット】 ●企業価値の向上、ビジネスや採用活動でのPR ●再エネ導入補助制度（国）における加点要素 ●加入者を対象とした省エネ・再エネ・EV等導入補助制度（県） ●再エネ導入（調達）・脱炭素経営に関する情報収集、参加団体間の交流 等

問合せ先 **鳥取県 生活環境部 脱炭素社会推進課** 電話0857-26-7879 ファクシミリ0857-26-8194
使用電力の100%再エネ化を目指して <https://www.pref.tottori.lg.jp/288957.htm> 鳥取県 再エネ100 検索

屋根付き広場整備に合わせ 「土曜夜市」開催

「土曜夜市」開催

元町通り商店街振興組合（理事長・遠藤至弘氏）は、本会の連携組織活性化サポート事業を活用して、7月20日、米子市道笑町「三元町パティオ広場」において「土曜夜市2024」を開催した。

本イベントは、「三元町パティオ広場」に屋根が整備されたのに合わせて、全国に先駆けて行われてきた米子の夏の風物詩「土曜夜市2024」の開催を計画。

当日は屋台等飲食ブースや氷柱が設置されるなか、吹奏楽・バンド・ダンスなどのステージに加え、子供万灯、市長とのじやんけん大会、BINGO大会などの参加型イベントが催され、多くの来街者で賑わった。また、屋根の完成記念式典も行われ、クラッカーを鳴らし完成を祝った。



土曜夜市の様子

遠藤理事長は「地域に愛され、親しまれてきた土曜夜市を開催でき、商店街の通りや整備された屋根付き広場を活かしながら、地域の皆様、子供たちの思い出に残るイベントとして実施することができた。今後も広場を有効活用し、商店街活性化に活かしていきたい」と思いを語った。

（米子支所 西尾）

夏の風物詩「土曜夜市 銀座鉄道の夜」を開催

倉吉銀座商店街振興組合（理事長・小林健治氏）は、7月20日、27日、「GINZA 土曜夜市 銀座鉄道の夜 2024」を開催した。

会場となる倉吉銀座通りは歩行者天国となつて「ミニスーパーはくと」を運行、子供たちは会場内を周回する列車への乗車を楽しんだ。

また、銀座屋台村・銀座ビアガーデンでは地元グルメやたこ焼き、

スーパーボールすくいをはじめとした屋台やキッチンカーなどが軒を連ねるとともに、銀座鉄道BARやアートワークショップ、フラダンスステージ、音楽ライブ（20日のみ）、打吹天女伝説まつり（27日のみ）などの催しが開催され、若者や家族連れなど多くの来場者で賑わった。

（企画振興部 森本）



土曜夜市の様子

第60回しゃんしゃん祭り 地域コミュニティを醸成！

地域コミュニティを醸成！

智頭街道商店街振興組合（理事長・中村隆氏）は、8月14日、本会の連携組織活性化サポート事業を活用し、きなんせ広場においてキッチンマルシェやステージイベントを開催した。

このイベントは、第60回鳥取しゃんしゃん祭りに合わせ、智頭街道商店街と他団体が連携、にぎわい創出の取り組みを地域の人々に知ってもらい、地域コミュニティの醸成を目的に開催、キッチンカーマルシェのグルメイベントのほか、ダンスチームや逢鷲太鼓連のステージイベントで会場を盛り上げた。

中村理事長は「今年は参加団体が10チームに増え、逢鷲太鼓連の出演や子供の出番など、多くの問い合わせを頂いた。当日は、きなんせ広場にも多くの家族連れや若者が訪れ、商店街も元気をもらえた。これを機に各専門店の強みを活かし、地域の人々が買い物を楽しめる商店街にしたい」と抱負を語った。

（組織支援部 北浦）



逢鷲太鼓連のパフォーマンス

創立50周年を盛大に祝う

鳥取県中部中小企業青年中央会（会長・古川大智氏）は、7月16日、倉吉市「倉吉シティホテル」において、創立50周年記念式典並びに祝賀会を盛大に開催した。

式典には、会員、OB会員、来賓など約100人が出席。50期会長である古川会長の挨拶では、50年という歴史を築いてきた先人たちに敬意を表し、今期テーマである『風〜心に翼を、背中に絆を〜』に込められた思いを述べ、「追い風で

前に進み、向かい風で高く舞うように会員一同で精進していきたい」と抱負を語った。

祝賀会では、これまでの会の歩みがまとめられた映像が流れ、歴史を振り返るとともに、アトラクションでは湯梨浜学園書道部による書道パフォーマンスとブーケトパフォーム・相沢知美氏による生花パフォーマンスが披露され、創立50周年の舞台に華が添えられ、出席者全員で50年という節目の年



記念式典、祝賀会の様子

を祝った。

（組織支援部 柳原

創立50周年記念式典・祝賀会を開催

鳥取県東部中小企業青年中央会（会長・藤原正実氏）は、7月27日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において、創立50周年記念式典並びに祝賀会を盛大に開催した。

式典には、会員、OB会員、来賓など約200人が出席。50期会長である藤原会長の挨拶では、今期のテーマである『Colors〜個性を磨け〜』に込められた思いを述べ、「会員一人一人が磨き上げた個性を一致団結させ、青年中央会の魅力やパワーを十分に活かした様々な事業を行っていききたい」と決意

を語った。その後、今までの会の歩みをまとめた「50年の歩み」を視聴し、当会の50年を振り返った。また、創立50周年を機に新たに策定したビジョン「T・S・CVision」と、その行動指針である「Blue Action」を発表した。

祝賀会では、本会・岩崎会長をはじめ、衆議院議員・石破茂氏などから祝辞をいただくとともに、アトラクションでは真傘坊豪ノ虎による傘踊りや、映像を使用した歴代会長登壇セレモニーが行われるなど、創立50周年を盛大に祝った。

（企画振興部 安陪

夏の風物詩

鳥取本通商店街・土曜夜市を開催

鳥取本通商店街振興組合理事長・高橋俊夫氏は、7月20日〜8月10日の土曜日・4日間、当商店街において「鳥取本通商店街土曜夜市」を開催した。

「コロナ禍での中止を経て4年ぶりに開催した昨年の土曜夜市は史上初の全日程を歩行者天国とするなど過去最高の人出を記録し、大成功を納めている。今年も全日程を歩行者天国とし、盛大に開催された会場には、キッチンカーや各種屋台が多数立ち並んだ他、日ごとでテーマが変わるステージイベントが行われ、夏の風物詩を待ちわびた多くの市民で賑わった。

高橋理事長は「今年には史上初めて41件にも登る企業、団体様からの御協賛を頂戴しての開催となりました。4回とも天気にも恵まれ、大勢の皆様に来街頂きました事、大変嬉しく思っております。市民の皆様には『今年には本通は何をするんだらう?』と言われるようになればもう一段階上のイベントに昇華出来ると確信いたします。これから新たな試みを重ねこの街の可能性を広げてゆきたいと存じます」と抱負を語った。

（組織支援部 柳原



本通土曜夜市の様子



記念式典の様子

情報連絡員だより
7月

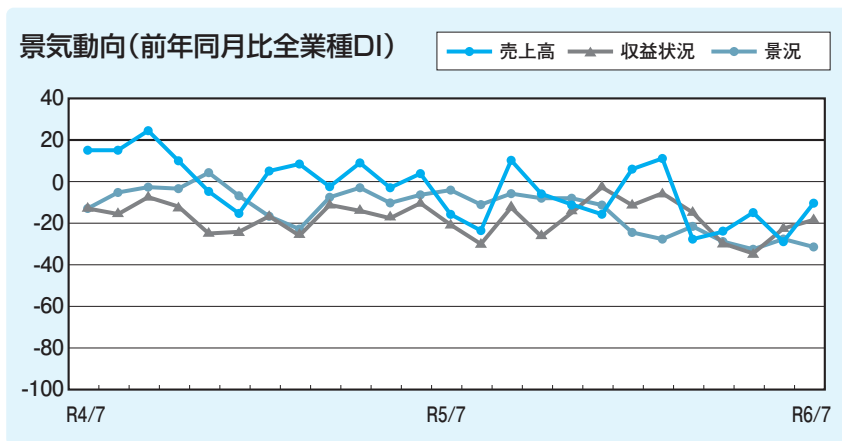
コスト上昇に対する価格転嫁が進まず収益が悪化

日銀の利上げによる経済活動への影響が懸念され先行き不透明

～景況DI値は、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5～

全業種景況DI値は、前月比8.6ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5となった。製造業では、原材料、光熱費等の高止まりが継続しているうえ、収益確保に向けた価格転嫁も困難な状況が続いている。非製造業では、7月中旬以降好天が続き、各地区の商店街では土曜夜市が開催され、多くの来街者で賑わいをみせた。一部の業種で価格転嫁が進み販売価格は上昇、売上高も増加となったものの、依然として物価高騰による経費負担の増加、消費マインドの低下が続いている。県内景況は、全業種で原材料、エネルギー価格の高騰や人件費の上昇などコストの上昇に対する価格転嫁が進まず収益の悪化が続いており、業況は厳しい。また、多くの業種で人手不足が深刻化しているほか、日銀の利上げによる今後の経済活動への影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続いている。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。



製造業

【食料品】

LPGガス、電気代は高止まりとなっているが、「エッグショック」も収まり、生産は順調に推移している。味噌・醤油業界では、7月は全国的に猛暑日、集中豪雨が続いたが、業界の景況に特に影響はなかった。

【繊維・同製品】

供給過剰が続いており、製品価格の

下落が懸念される。依然として供給過剰によるデフレ状態が継続しており、秋物の受注の動きも鈍い。

【家具・装備品】

物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少となった。製材品の生産量は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。プレカット加工の稼働率は前月比45%増加、前年同月比は15%減少で推移した。

【紙・加工品】

円安の影響により原材料高経費の高止まりが続いている。引き続き業況は厳しい。

【印刷】

慣例的な印刷需要の減少とデジタル化の進行が続いている。新技術の導入と、市場ニーズに応じた柔軟な対応が求められるうえ、新サービスに関する要望増加に対する技術力と創造力が業界内で必要とされている。

【業業・土石製品】

7月の生コン出荷量は、前月比で約3%減少、前年同月比で同水準となった。東部地区では少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では前年割れが続く低調に推移しているが、来月は前年程度の受注確保の兆しがある。西部地区では受注は徐々に上向き傾向

にあり、年内中は堅調に推移する見込みである。

【金属製品】

建築関係は、県内物件は現状少なくなっている。西部地区では仕事を確保出来ている会社もあるが、特に東部地区は物件が少ない。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いている。機械加工は、自動機関連の受注が堅調。自動車関連の受注に動きが出てきたが、相次ぐ不正による生産停止の影響が不安要素となっている。工作機械関係は相変わらず厳しい状況が続いている。

【鉄骨加工】

人件費、運送代、溶接材料代、燃料代等高騰に対する価格転嫁は追い付いていない。

【金属熱処理】

前月比は15%程度の受注増となったが、全体に受注が活発化したのではなく、特定の付加価値の高い処理依頼品の受注が多かったことによる受注増であった。昨年同月比は3%程度の増加となった。

【電気機器器具】

国内向け需要も在庫調整が続き厳しい状況となっている。国内向け半導体装置部品やパソコンといった一部に製品は順調に推移しているものの、先行きは不透明で回復の兆しが見えない。

非製造業

【卸売業】

青果関係では、前年同月比では取扱数量、売上高ともに増加となった。鮮魚関係では、前月比では取扱数量、売上高ともに減少、前年同月比は取扱数量、売上高ともに増加した。食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。日銀の利上げによる今後の影響が危惧されている。7月の巻き網は例年水揚げのあるアジ、イワシ類の不漁に加え、全般に時化模様の日が多く総水揚げ量も昨年の半分程度にとどまり、好調であったマグロ漁も6月でほぼ漁獲枠を消化、紅ズワイ漁、底引き漁も休漁期となり、スルメ、白いか漁も不漁が続いて完全な「夏枯れ」状態となった。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、7月は鳥取本通商店街での土曜夜市・歩行者天国を7月20日より実施し、毎週多くの来場者で賑わいをみせた。街区飲食店等も店前での売出しを行い、集客、売上増に繋がっている。多くの業種で価格転嫁を図っているものの、これ以上の値上げは客離れを起こす可能性があり、非常に厳しい状況に追い込まれている。倉吉市の商店街では、倉吉銀座通りを歩行者天国にして20日と27日の土曜日に夏恒例の『土曜夜市』を開催した。出店や打吹回廊のステージを中心にイベントを実施し、約3,500人を超え

る来場者が訪れ賑わいをみせた。米子市の商店街では、7月20日に元町通り商店街で土曜夜市を開催した。米子市の公共事業として行った広場の屋根設置工事の披露も含めた今回の土曜夜市は5,000人を超える来場者で多くの家族連れで賑わいをみせた。

境港市の水産物小売では、7月からベニズワイガニは休漁期となり、水産物販売もほぼ閑散期に入るため、前月比、前年比とも目立った変化は見られなかった。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、梅雨により悪天候であったが降雨量が少なかったこともあり観光客の入込数は増加傾向で推移した。梅雨明け後は連日の猛暑が影響し、観光客の入込数は伸びなかった。米子市のホテル・旅館では、7月の予約は前半が低調で推移し、宿泊者数は前年と同水準となった。夏休みに入ると皆生温泉海遊ビーチは家族連れで賑わいをみせた。三朝温泉では、大型連休後からの客足は改善傾向にあるものの、前年比では大きく下回っている。徐々に外国人材の採用が増えてきている。羽合温泉では、7月の宿泊は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。円安や物価高の影響により前年同月比で販売価格が上昇、売上高も増加となった。

【自動車整備業】

新車の販売は普通車・軽自動車を含む2,243台で前月比は普通車約

19%、軽自動車約3%の増加、前年同月比は普通車約7%、軽自動車約9%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて688台で前月比からの増減はなく、前年同月比は約6%の減少となった。継続検査(軽自動車を含む)は16,246台で前月比約12%増加、前年同月比0.2%の減少となった。

【建設業】

6月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額92億円、件数187件となった。年度累計は、請負金額295億円、件数531件となった。公共投資は3か月連続の前年同月比プラスとなった。設備投資は単月、3か月平均ともに前年同月比プラスとなった。住宅投資は単月、3か月平均ともに前年同月比マイナスとなった。

【運輸業】

7月の物流は、売上高は前月比では増加となり回復の兆しが見えるものの、前年同月比では減少となった。復路の空車での運行も減少傾向にあるが、慢性的なドライバー不足の問題も抱えており、今後も厳しい状況が予想される。7月の燃料価格については、為替動向の円高及び原油価格の低下により、燃料価格も低下に転じた。さらに2024年問題に伴い各社配送距離を抑制する傾向がみられ売上の低下に拍車がかかり、大変厳しい状況となった。

(情報連絡員 38名)

全国先進組合事例

テーマ 再チャレンジ・再建に取り組んでいる(取り組んだ)事例

世界一温泉観光都市「別府」を、飲食で盛り上げる

別府社交飲食協同組合(大分県)

■背景と目的

別府飲食業協同組合(居酒屋・レストラン等)と別府料飲協同組合(スナック・バー等)は、どちらも高齢化による廃業等で組合員数は減少傾向にあった。そのようななか、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症による影響で組合員は大きなダメージを受けていた。経営難による倒産や廃業が相次ぎ別府市内の飲食業者が危機的状況に陥るなか、現状を打開すべく両組合が統合し、令和3年10月、現在の別府社交飲食協同組合として再スタートした。

■取組みの手法と内容

統合時は両組合の運営方法の違いから組合員への説明が難航し、まともらずに苦労した。元別府料飲協同組合理事長の赤嶺氏(現別府社交飲食協同組合理事長)を中心に話し合いを重ねたほか、文章を送ったり直接出向いて説明したりするなど、組合統合の必要性について地道に組合員へ説明した。令和3年の組合統合時もコロナ禍真っ最中で、営業時間短縮や外出自粛の要請等により組合員は依然として、新型コロナウイルス

又感染症の影響を大きく受けていた。令和4年にはイベントの再開や外国人観光客のビザ発給申請が再開されたことにより、別府市を訪れる観光客が少しずつ戻ってきた。このタイミングでの需要を取り込むことを目的に、組合統合後初の事業として、1次会・2次会の両方で使える組合員店舗を紹介した「ナイトマップ」を作成するに至った。ナイトマップを組合員店舗のほか、観光案内所や商業施設に設置したところ観光客から非常に好評で、何度も補充している。ナイトマップの他にも、2022年3月には飲酒運転を許さない社会環境づくりを目的とした「飲酒運転根絶宣言店制度協定」を別府警察署と締結したり、地域の祭りに組合として参加したりと、飲食を通して別府市を盛り上げている。

■成果とその要因

組合員数減少や新型コロナウイルス感染症の影響など同じ課題を抱えていた両組合が、別府市内の飲食業者の危機を一丸となって乗り切るために協力し統合したことで再び団結し、組合員のための共同宣伝事業に

令和5年度資料収集加工事業報告書より

取り組んだことが成功の要因といえる。今後も共同宣伝事業や地域振興への取組みを継続し、組合の認知度を向上させ組合員数の増加を期待する。



「ナイトマップ」
組合員店舗のほか、別府観光の見どころを紹介



「夏まつり夜市」
地域イベントへ組合として参加

ポイント
別府市内の飲食業者が一丸となって危機を乗り越え、世界一の温泉観光都市「別府」を、飲食を通して盛り上げている。

別府社交飲食協同組合
所在地 大分県別府市元町15番7号
設立 昭和41年9月
出資金 4,519千円
主な事業 飲食業
組合員数 96人

この街と生きていく。もっと大きくあなたの未来。

倉吉信用金庫

理事長 笠見 和則

本店：鳥取県倉吉市昭和町1丁目60番地
TEL 0858-22-1111(代) FAX 0858-22-5607
<https://www.kurashin.co.jp/>

令和6年度「中小企業組合検定試験」受験申込のご案内

中小企業組合検定試験とは、中小企業組合（事業協同組合、企業組合、商工組合やこれらの組合の連合会）の事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験を行うもので、試験合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号が与えられます。
 ※本検定試験は、全国中小企業団体中央会が主催し、中小企業庁の後援、都道府県中小企業団体中央会の協力で実施しています。

- 試験日** 令和6年12月1日(日)
- 試験科目** 組合会計・組合制度・組合運営
- 受験料** 6,600円(税込)
 ※一部科目免除者については、5,500円(二科目受験)、4,400円(一科目受験)。

試験会場 札幌・青森・仙台・秋田・郡山・水戸・さいたま・東京・長野・静岡・名古屋・京都・松江・広島・山口・高松・福岡・長崎・大分・宮崎・浦添

申込受付期間 令和6年9月2日(月)～10月21日(月)
 ※お申込方法は、令和6年度中小企業組合検定試験受験申込サイトからお申込みください。

お問い合わせ先 詳細は、鳥取県中小企業団体中央会または全国中小企業団体中央会(TEL03-3523-4905)までお問い合わせ下さい。



中央会・組合の9月行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
4	水	第4回組合等設立新規創業支援事業 15:00 (対象:協同組合DXI) ホテルニューオータニ鳥取
6	金	組合BCP作成支援・研修会 17:30 (対象:鳥取県板金工業組合) グラン米子
10	火	中央会中部支部会 16:00 ホテルセントパレス倉吉
11	水	中央会東部支部会 16:00 ホテルニューオータニ鳥取
		働き方改革支援事業(対象:鳥取県金属熱処理協業組合) 13:30 組合事務所
11	水	組合BCP作成支援・研修会(対象:鳥取県板金工業組合) 17:30 倉吉シティホテル
		中央会西部支部会 16:00 ANAクラウンプラザホテル
13	金	組合BCP作成支援・研修会(対象:鳥取県板金工業組合) 17:30 対翠閣
17	火	中部青年中央会9月例会 19:00 倉吉シティホテル
18	水	西部青年中央会9月例会 19:00 米子市観光センター
19	木	東部青年中央会9月例会 19:00 白兔会館

情報募集

『中小企業とっとり』に
組合の情報を掲載しませんか?

- ★イベントのPRをしたい
- ★組合の事業を紹介したい
- ★組合のニュースを
取り上げてほしい
などなど



お気軽にお問い合わせください!

【組合の情報掲載に関するお問い合わせ】
鳥取県中小企業団体中央会
 企画振興部 TEL:0857-26-6671
 または組合担当者まで

9月の倉吉出張所相談日のお知らせ

3日(火) 10日(火) 17日(火) 24日(火)

今月の表紙

「砂丘に咲いた花

(砂丘パラグライダー) (鳥取市)
 パラグライダーとは、スカイスポーツの一種で、スカイダイビング、ハンググライダーなどいろいろな飛ぶ道具がある中で、一番遅く誕生したもつとも手軽に空を楽しむことができる航空機。高い丘や山から助走をつけて飛び立ち、上昇気流を利用して滑空を楽しむスポーツです。鳥取砂丘では、パラグライダースクールがあり、子供からお年寄りまで楽しく体験することが出来ます。目の前に広がる広大な砂丘と美しい日本海が織りなす絶景を肌で体感してみたいいかがでしょうか。

編集後記

先月8日に日向灘を震源とする地震が発生し、9日にも関東圏で地震が発生しました。このニュースを見て地震の対策をした方も多いのではないのでしょうか。地震だけではなく、台風も多く発生する時期でもありますので防災グッズや避難経路、ハザードマップなどを改めて確認し災害に備えましょう。

日本中が盛り上がったパリ五輪が8月11日に幕を閉じました。総メダル数は金20個、銀12個、銅13と合計45個のメダルを獲得し、金メダル数と総数はいずれも海外開催の五輪での最多記録を更新しました。日本代表の選手が健闘している姿は、見ている人に大きな感動と勇気を与えたのではないのでしょうか。4年後はロス五輪。パリ五輪より更なる活躍を期待したいです。

(ナギシ)

中央会共済制度で リスクマネジメントを 万全なものとしませんか。

① 特定退職金共済制度

人材の確保・定着のキメ手、
従業員の退職金制度

② 経営者年金共済制度

経営者および家族従業員の退職金制度

③ オナーズプラン（団体扱生命保険）

事業保全資金の確保と
経営者の退職慰労金準備のために

④ パートナースプラン（団体扱生命保険）

従業員の皆さまのための多様な保障準備に

⑤ ビジネスJネクスト（業務災害補償保険）

企業を業務上の災害リスクから守る

⑥ 集団扱 自動車保険・火災保険

事業主および従業員のための自動車保険・火災保険

⑦ 総合賠償責任保険制度

企業を賠償責任リスクから守る



お問い合わせ

鳥取県中小企業団体中央会

TEL(0857)26-6671

中小企業とつどい 令和6年9月1日

発行人 鳥取県中小企業団体中央会

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96

TEL(0857)26-6671(代)・FAX(0857)27-1922

倉吉出張所 〒682-0887 倉吉市明治町(倉吉商工会議所内)

TEL・FAX(0858)22-1706

米子支所 〒683-0823 米子市加茂町(米子商工会議所5階)

TEL(0859)34-2105・FAX(0859)34-6441

URL <https://www.chuokai-tottori.or.jp>

E-mail honbu@chuokai-tottori.or.jp

毎月1回1日発行 日ノ丸印刷株式会社 印行

購読料 1部 70円 TEL(0857)22-2248(代)

(会員の購読料は会費に含まれています)